

(^_^)
(^_^)
(^_^)
(^_^)
(^_^)

『明日からの学級が変わる！How To 学級作り・特別活動』

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

(^_^)
(^_^)
(^_^)
(^_^)
(^_^)

平成21年05月05日発行：第76号

メニュー

- 1 元気になる学級づくり メニュー2：学級目標 ア・ラ・カルト
- 2 第11回希望の会in山口，山口学級活動ネットワーク冬の学習会報告 その6
- 3 メルマガ編集部からのお知らせ

前回に引き続き，学級づくりのメニューについて紹介していきます。
二回目は，「メニュー2：学級目標 ア・ラ・カルト」です。

1 元気になる学級づくり メニュー2：学級目標 ア・ラ・カルト

下関市立名池小学校 梶田崇晴

◇学級目標は，子どもたちと学級をつくっていく上での指針となります。子どもたちの願いを集約していき，一人ひとりが自信を持って語れるものが学級目標です。ですから，子どもたちにとって行動の基準ともなるものです。そんな学級目標を大事にしてほしいと思っています。

☆学級目標をつくろう☆☆☆

学級目標は，子どもたち（学級）のめざすゴールです。そこで，教師の願いを生かしつつ，子どもたちの思いを大事にした学級目標をつくることにしています。
その手順は次の通りです。

その1 新しい学級に対する願いや夢を集める（集約）

子どもたちの思いを集約します。学級目標は，始業式の日にあわせてつくらなくてもいいのですが，子どもたちの新しい学級に対する願いなどは，始業式の日聞いておくことがよいようです。

その2 子どもの願いや夢をまとめる（収束）

子どもたちが出してくれたものはよく似たものが多い場合が多くあります。ただし，まとめる際に担任が勝手にまとめることは避けましょう。あくまでも子どもたちとの話合いでまとめていきたいものです。

その3 願いや夢をイメージ化し，学級目標をつくる（創造）

※これは，一つのやり方ですが，学級目標にもいろいろな型（パターン）があります。「その2」で終わると「いつも元気な子・友だちに優しい子…」というような子ども像型の学級目標ができあがる場合が多くなります。それでも悪いことはないのですが，できればもう一踏ん張りして「その3」までいきたいものです。

これには、**スローガン型（ファイトー発！6年2組）**や**イメージ型（笑顔あふれる太陽学級）**や**語呂合わせ型（たのしく、ぬくもりと、きびしさのある学級）**などがあります。この型は、その学級独特の表現を持つ目標になっています。このように個性的なものが、子どもたちの「自分たちの学級目標」という思いを強くできるのでいいと思っています。

ちなみに、昔、私がもった6年の学級目標は「すまいる」でした。

すてきな笑顔，まんまるな心，一生懸命な態度，ルールを守る姿勢をめざして夢いっぱい学級を創ろうという子どもたちの願いが込められています。

また、「さわのび」という学級目標をつくったこともあります。「さわやかでのびのびした学級」を短く表現したものです。ほかにも「いつも元気だポンポコ学級」「めざせ！日本一のカレーライス」「カンガルーパワー」「ゆっくり歩こうありんこ学級」「く～ちゃんパワー」「たこ焼き学級」「幸せの木」「元気いっぱいぺんちゃん学級」「みんなでかこう頭の汗，体の汗，心の汗」「ぼくらはすてきな宝石箱」「笑顔がいっぱい たいちゃん学級」などもあります。

子どもたちにとって魅力あふれる学級目標 次の5つの条件

- ・夢のある言葉が使われている
- ・子どもの思いや願いが取り入れられている
- ・学級の独自性がある（個性的である）
- ・学級のめざす方向性が見える
- ・学級の諸活動に生かすことができる

2 第11回希望の会in山口、山口学級活動ネットワーク冬の学習会報告 その6

冬の学習会，午後の部では、「希望の会」が大事にしてきた「参加者が語り合う」というやり方でワークショップを行いました。

ここでは参加者に12のグループに分かれてもらって，それぞれに課題を与え，話し合ってもらいました。

話し合ったことをまとめたものは，山口学級活動ネットワークのホームページもしくは，希望の会のホームページに掲載していますので，そちらをご覧ください。

ここでは，4回に分けて，12の課題と話合いの結果から見えてきたことを紹介しておきます。

実践上の課題（4）

「人間関係を形成する力を養う活動」が重視されるようになりました。それは，どのような活動なのでしょう，また，その活動を充実させるには，どのように指導すればよいのでしょうか。

この話合いでは，特別活動における様々な活動の中で，どういう場を通して「人間関係形成力」を育てていくことができるかということで意見交換がなされました。そして，「協力し合ってやり遂げる活動」を仕組むことや，「異年齢による交流活動」が重要であること，「アイデアを出し合ってそれをお互いに認めていく」ことが大事であることが見えてきたようです。

実践上の課題（5）

学級活動の内容として2学年ごとに分けた学級活動の内容が示されました。その中で、低学年では「仲良く助け合い学級を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成…」と示されています。そのような態度を育成するにはどのような活動を考えたらいいでしょうか。

低学年の学級活動では、「仲良く助け合い（人間関係）」「学級を楽しくし（生活づくり）」「進んで取り組もう（社会参画・自治的能力）」とする態度が求められています。この内容では、「意見をつないでいくこと」「自分たちで企画することを経験させること」「かかわりをもたせること」をステップを設けて取り組ませる活動が大切ではないかということが見えてきたようです。

実践上の課題（6）

中学年では、「協力し合って楽しい学級生活をつくとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成…」と示されました。そのような態度を育成するにはどのような活動を考えたらいいでしょうか。

中学年の学級活動では、「協力し合って（人間関係）」「楽しい学級生活をつくり（生活づくり）」「意欲的に取り組もう（社会参画・自治的能力）」とする態度が求められています。この内容では、多様な集団活動を通して「協力した結果の成功体験・感動体験」を積み上げさせ、そのことによって学級の諸問題に気付かせ、解決していく経験をさせる活動が大切ではないかということが見えてきたようです。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◆◆

第77号は5月中旬ごろ発行予定です。

次号も、第一特集は「元気が出る学級づくり」について、第二特集では「冬の学習会」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◆◆

現在の購読者は243名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◆◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

先日、学習指導要領が出されました。これから少しずつ新しい特別活動がどうなるのかについても、明らかになっていくのではないかと思います。そのあたりについても可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◆◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

本メールマガジンでは、次のような新しいテーマで情報交換を行ってみようと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

***こんな時、どうする？コーナー**

学級での生活の中でのいろいろな場面を想定し、その時、どういう手立てをうてばよいか、についての実践を紹介してください。これまでに取り組まれたことのある実践もお待ちしています。

***学級づくりで、はっ！とさせられたこと**

長く学級担任をやっていると、自分のやり方が当たり前になってしまっていることに気づかされることがあります。それを教えてくれるのが子どもたちだったりします。そういう出来事や子どもたちのつぶやきを紹介してください。

***子どもってすごいなあ！と思ったこと**

子どもがもっているものって素晴らしいです。子どもたちといると、「子どもってすごいなあ」と感心させられることが多々あります。子どもたちのそういう姿を紹介しませんか。

◆感想をお聞かせください◆◇◆

メールマガジンの感想をお聞かせください。「こんな記事がよかった」「もっと詳しく知りたい」のほか「こういう情報を載せてほしい」ということをお聞かせください。以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====
山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

=====